

Beethoven クラス

お気に入りのクラシック曲、現代の曲をそれぞれ紹介しました

ひばり音楽教室
ベートーヴェンクラス 2025年度 ソルフエージュ vol.34 2026.1.20

【一番好きな歌謡】

出逢っただけ
ばいばい
じんも優しくおれな
うん
人形はかき出した時は
目のことのように思え
ように。

【はじめにきた時】

お父さんの車い
のた
バグナツン(他の曲
もさ)たよ

それぞれの曲の思い出を書いてみよう
クラシック-外国 げんたい-日本
クラシック-ドイツ/オランダ/フランス
げんたい-ドラム/ギター-うた

知っている音楽のジャンルを書いてみよう
クラシック
【洋楽】
【K-POP】
【どうよう】

似顔絵
back number

ひばり音楽教室
ベートーヴェンクラス 2025年度 ソルフエージュ vol.34 2026.1.20

【一番好きな歌謡】

いつだって
笑顔
最高じゃん!!

【クラシックについて】

お父さん
コンサト
音楽の成績はかたていう
ものがない天才な人
この後、オーストリアに帰って
息を引きとった...

それぞれの曲の思い出を書いてみよう
クラシック-外国 げんたい-日本
クラシック-ドイツ/オランダ/フランス
げんたい-ドラム/ギター-うた

知っている音楽のジャンルを書いてみよう
クラシック
【洋楽】
【K-POP】
【どうよう】

似顔絵

ひばり音楽教室
ベートーヴェンクラス 2025年度 ソルフエージュ vol.32 2025.12.23

【宿題】
好きな曲を書いてみましょう

【クラシックの曲】

■題名
金子権の鐘の踊り

■作曲家
ゴットフリート・ケイコフスキー

■作られた年代

■曲のイメージ
かわいらしい感じ

■好きなところ
かわいらしい感じが多いところ

【現代の曲】

■題名
水手服

■作曲家(アーティスト名)
back number

■作られた年代
2020年8月ごろ

■曲のイメージ
元気な感じ

■好きなところ
目のせなかなは見えぬのだから、
ほわほわする感じがいい。

ひばり音楽教室
ベートーヴェンクラス 2025年度 ソルフエージュ vol.32 2025.12.23

【宿題】
好きな曲を書いてみましょう

【クラシックの曲】

■題名
木更とロッド・カアリチオー(ロカ)

■作曲家
カミーユ・サリサンス

■作られた年代
1863年

■曲のイメージ
おどろしい、暗い
木更は静か、どうもから明かしく、暗い
何かが(メロディ)かわる

■好きなところ
おどろしい感じがかわる

【現代の曲】

■題名
ウダウダ / のあえと(白ラビ)

■作曲家(アーティスト名)
3,4/1000

■作られた年代
2025年6月22日

■曲のイメージ
明るい、前向き

■好きなところ
やさしい
歌が聞きごたえがいい!! ずっと元気がでる

ソルフエージュ講師紹介



炭谷 紗輝先生

「Brahms クラスではソルフエージュ以外にも、作曲家が伝えたい意図を楽譜から読み取る能力を向上するため、基礎を固める楽典の練習問題を日々行っております。また、冬休みの課題ではいつもと趣向を変え、リズム問題を中心に皆んな精一杯取り組んでくれました。音高・音大受験を見据え、少しずつ理解度が高くなれたら嬉しいです♪」



戸田 英里先生

「2年目、3年目とレッスンが進んでいくと、点と点が繋がっていく瞬間があります。初めはひとつずつが別のもののように思えたとしても、聴音、視唱、リズム、楽典、どれも音楽を読み解くことにつながっているということを感じられるレッスンにしたいと思っています。」

ひばり音楽教室

ソルフエージュ新聞

2026年 特別号

バッハクラス
オリジナルの
調号カードを作ったよ

ひばり音楽教室のソルフエージュクラスでの課題や取り組んだ内容についてご紹介いたします。
今回の井上佳那子先生からのメッセージは、去年から始まった中学生クラスについてです。クラスの皆さんや、ソルフエージュクラスに興味のある方に読んでいただきたい内容です。ぜひご覧ください。



1 $\text{♩} + \text{♩} = \text{♩}$ 4 $\text{♩} + \text{♩} = \text{♩}$

2 $\text{♩} + \text{♩} = \text{♩}$ 5 $\text{♩} + \text{♩} = \text{♩}$

3 $\text{♩} + \text{♩} = \text{♩}$ 6 $\text{♩} - \text{♩} = \text{♩}$

Bach クラス

音符の長さについての
クイズ作りに挑戦!





井上佳那子先生からのメッセージ

本年度より、ソルフェージュクラスに中学生クラスが加わりました。ソルフェージュクラスを始めた当初から通ってくれていた生徒が、気がつけば中学生に。時間の流れの早さに驚きつつ、その成長に合わせる形で、このクラスがスタートしました。

中学生クラスでは、将来の受験も少しずつ視野に入れながら、以前より踏み込んだ内容にも触れています。ただ、知識を増やすこと自体が目的ではなく、音楽をより深く理解し、どう感じ、それをどう演奏につなげていくかを大切にしています。

私自身がソルフェージュと向き合い始めたのは、音楽の道に進むと決めた高校三年生の頃でした。始めた時期があまりに遅く、わからないことだらけで、焦りと恥ずかしさと強い苦手意識を持っていたことをよく覚えています。当時は「受験のためにとにかくやるしかない」という気持ちで、必死に取り組んでいました。

Brahms クラス レッスンでの宿題を見てみよう♪

問3 近親調を書きまよう。

Grade B
拍子にしたがって適切に書き改めなさい。

問3 和音記号と和音の種類を、それぞれ書きまよう。

問6 次の曲を長3度上に、調号を用いて移調しまよう。

問1 次の各音の上に指示された音程になる音を書き入れなさい。

Brahms クラス 冬休みの宿題の一部分を紹介

問6 同じ拍子のカードを線で結び、リズムを打ちまよう。

問7 品物の値段とピッタリ同じ財布を線で結びまよう。8分の6拍子として1拍は100円です。

問3 次の()に必要な休符を一つ書き入れまよう。

(1) = + ()	(2) = + ()
(3) = + ()	(4) = + ()
(5) = + ()	(6) = + ()
(7) = + ()	(8) = + + ()
(9) = + + ()	(10) = + + ()



井上 佳那子

けれど今振り返ると、ソルフェージュは本来、音楽の世界をぐっと広げてくれるもの。時間をかけて向き合う中で、楽譜の見え方が少しずつ変わり、演奏の中の発見が増え、「そういうことだったのか」と腑に落ちる瞬間を、何度も与えてくれました。

最近もたまにソルフェージュクラスを覗きに行きますが、難しくそうに考え込む場面もありつつ、子どもたちは前向きに、楽しそうにソルフェージュに向き合っています。

普段のレッスンの中でも、楽譜から自分なりの気づきを見つけ、それを音にしようとする姿が、以前よりはっきりと感じられるようになってきました。

音楽との向き合い方が、少しずつ変わっていく。そんな時間が、このクラスの中で静かに積み重なっているのを、嬉しく感じています。

